2026 年 11 月 9 日
日本郵便株式会社

# 島根県益田市で「益田市日本遺産デジタルスタンプラリー」を開催
## ～日本遺産を巡り、地域の魅力を体験　周遊の促進と地域のにぎわい創出を目指す～

日本郵便株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長兼執行役員社長　小池 信也／以下「日本郵便」）は、益田歴史文化活用推進協議会（島根県益田（ますだ）市、会長　河上 信男／以下「協議会」）が実施する「益田市日本遺産デジタルスタンプラリー（注1）」の運営業務を受託します。

本スタンプラリーでは、「パワースポット」をテーマに、益田市内の日本遺産（注2）を構成する文化財などを巡りながら、地域の歴史・文化・自然の魅力を体験していただきます。日本郵便は、本スタンプラリーを通じて地域内の周遊を促進するとともに、観光機会の創出を支援します。




### 1　背景・目的

地域のにぎわい創出において「観光」は、訪れる方が地域を知り、施設や店舗を巡るなど、地域と関わる重要な入口です。スタンプラリーは、地域を楽しく巡るきっかけを作り、観光施設や店舗への立ち寄りなど地域内での消費機会を生み出す取り組みとして広く活用されています。

本施策では、スタンプラリーの楽しさや周遊を促す効果に、LINE を活用したデジタルの仕組みを組み合わせます。観光施設や店舗、イベントなどをつなぐことで、地域内の周遊や消費機会の創出を促すとともに、スタンプの取得状況などの参加データを、参加者の周遊傾向の把握に活用します。また、本施策終了後も LINE を通じて地域の観光、イベント、特産品などの情報を届けることで、地域への再訪や地域との継続的な接点づくりにつなげます。

島根県益田市は、島根県西部に位置し、歴史、自然、芸術文化施設、温泉など、多様な地域資源を有しています。特に、益田市の日本遺産「中世日本の傑作 益田を味わう－地方の時代に輝き再び－」は、中世の歴史・文化を今に伝える地域の魅力を体感できるストーリーです。

市内には、萬福寺、医光寺、益田市立の雪舟の郷記念館や大喜庵、島根県芸術文化センター「グラントワ」、高津柿本神社など、日本遺産構成施設などをはじめとする多様なスポットが点在しています。これらのスポットを巡ることで、益田市の歴史・文化・自然の魅力をより深く体感していただけると考えています。

日本郵便は、自治体、観光関係団体、地域事業者などと連携し、地域の目的や特性に応じたデジタルスタンプラリーの企画・運営・周知を支援することで、地域のにぎわい創出と持続可能な地域づくりに貢献してまいります。

## 2　施策概要

| | |
|---|---|
| 名　　称 | 益田市日本遺産デジタルスタンプラリー |
| 開 催 期 間 | 2026 年 11 月 15 日（日）～2027 年 2 月 14 日（日） |
| 対 象 エ リ ア | 島根県益田市 |
| ス　ポ　ッ　ト | 約 15 カ所（日本遺産の構成文化財など） |
| 参 加 方 法 | スマートフォンなどで各スポットに設置された二次元コードを読み取り、表示される案内に従って島根県益田市の LINE 公式アカウントを友だち追加した上で、デジタルスタンプを取得 |
| 参　加　費 | 無料（期間中の参加は各スポット 1 回まで）<br>※スタンプ取得などに伴う通信料は、参加者さまのご負担となります。<br>※一部スポットでは、入館料などが別途必要となる場合があります。 |
| 特　　典 | 取得したスタンプの数により、萩・石見空港～羽田空港往復ペアチケット、柴犬グッズ、日本遺産「中世益田」グッズに応募いただけます（それぞれ抽選）。 |
| Ｗｅｂ サ イ ト | https://go.sushitop.io/?id=masuda/2026/18fogln |
| そ　の　他 | 本プレスリリースの発信に併せて、「益田市日本遺産デジタルスタンプラリー」のスタートスタンプを配布します。<br>ぜひ、以下 URL または二次元コードからお受け取りください（注３）<br>https://go.sushitop.io/?id=masuda/2026/17gohka |

## 3　日本郵便が運営する本デジタルスタンプラリーの特長

(1) LINE を活用した参加しやすさと継続的な情報発信

専用アプリを新たにダウンロードすることなく、LINE と二次元コードの読み取りにより参加できます。スタンプラリー終了後も、地域の LINE 公式アカウントを通じて、観光、イベント、特産品などの情報を継続的に届けることができます。

(2) 参加データを活用した周遊状況の把握

スタンプの取得日時、取得スポット、取得順序などの参加データを把握し、地域内の周遊傾向やスポットごとの参加状況を確認できます。提供する CSV データなどを、次回のスポット設定や情報発信、観光施策の検討に活用できます。

(3) 地域の目的に応じた周遊・特典の設計

観光施設や店舗に加え、地域イベント、文化施設、道の駅など、地域の目的に応じた場所をスタンプスポットとして設定できます。特典についても、地域産品への抽選応募、現地で利用できるクーポン、デジタルコンテンツなどから、施策内容に応じて設定できます。

(4) 郵便局ネットワークを活用した周知・連携

益田市内の郵便局において、本施策のチラシ・ポスターの掲出などを通じた周知を行います。

地域に根ざした郵便局ならではの接点を生かし、益田市の日本遺産や周遊の魅力を、より多くの方に知っていただくきっかけづくりを支援します。

## 4　今後の取り組みと展望

本施策では、デジタルスタンプラリーを通じて地域内の周遊を促すとともに、スタンプの取得状況などの参加データを、今後の観光施策や情報発信の改善に活用することで、観光を通じた地域の活性化に貢献してまいります。

今後は、現地での観光体験とデジタル技術を組み合わせた仕組みを、地域の特性に応じた観光施策や地域活性化の取り組みに活用し、自治体や事業者の皆さまと連携して展開してまいります。

今後も日本郵便は、こうした取り組みを通じて、地域社会の生活基盤を支えるとともに、持続可能で魅力ある地域づくりを支援してまいります。

【注釈】

（注 1）本施策のデジタルスタンプには、デジタルデータに唯一性を付与する NFT（非代替性トークン）技術を活用しており、安全かつ匿名性を保ったデータ蓄積を実現しています。

（注 2）「日本遺産」は、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語る「ストーリー」を文化庁が認定する制度です。2015 年度に開始され、これまでに全国で 104 件が認定されています。益田市の「中世日本の傑作 益田を味わう－地方の時代に輝き再び－」は、2020 年 6 月 19 日に認定された全国で 100 番目の日本遺産ストーリーです。

（注 3）島根県益田市が運営する LINE 公式の画面に遷移しますので、友だち追加後、デジタルスタンプを受け取ることが可能です。LINE のトーク画面のメニューにある益田の魅力からデジタルスタンプラリーの Web サイトに遷移し、受け取ったデジタルスタンプを確認できます。デジタルスタンプの受け取りはスマートフォンのみ可能です。

【参考：プレスリリース・お知らせ】

・NFT を活用した実証実験（地域共創 NFT プロジェクト）の開始～石見銀山エリアにて第 1 弾スタート～（2025 年 1 月 9 日）
https://www.post.japanpost.jp/newsrelease/pressrelease/71437688107.html

・地域共創 NFT プロジェクトの一環で NFT を活用した石見銀山デジタルスタンプラリースタート！（2025 年 3 月 26 日）
https://www.post.japanpost.jp/newsrelease/pressrelease/68402948114.html

・東松島市との NFT を活用した新たな観光体験プロジェクトの実施～地域共創 NFT プロジェクト第 2 弾～（2025 年 7 月 24 日）
https://www.post.japanpost.jp/newsrelease/pressrelease/546135815.html

・石見銀山エリア（島根県大田市）での地域共創 NFT プロジェクトに関するお知らせ （2025 年 7 月 29 日）
https://www.post.japanpost.jp/newsrelease/pressrelease/555906019758.html

・島根県石見地域および島根県益田市でデジタルスタンプラリーを同時開催！
～石見地域・日本遺産の観光を通じた地域活性化を目指して～(2026 年 1 月 8 日)
https://www.post.japanpost.jp/newsrelease/pressrelease/749740232.html

・島根県石見地域で「石見周遊デジタルスタンプラリー」を開催！
～観光施設と「食・神楽」のイベントを組み合わせ、持続可能な地域共創モデルを推進～(2026 年 8 月 24 日)
https://www.post.japanpost.jp/newsrelease/pressrelease/958267396496.html

・島根県大田市で「大田市日本遺産デジタルスタンプラリー」を開催
～日本遺産の魅力をつなぎ、周遊促進と地域の賑わい創出を推進～(2026 年 9 月 11 日)
https://www.post.japanpost.jp/newsrelease/pressrelease/258305719626.html

以 上

【お客さまのお問い合わせ先】
日本郵便株式会社 地域共創プロジェクト事務局
<jp_local_co-creation_project.ii@jp-holdings.jp>